

# IVEAT NEWS LETTER



## 6、7月の近況報告

コロナ感染症が収束しかかったと思ったら、また、拡大しています。もちろん、第1波は中国株によるもので、PCR検査をしていなかったのが、重症患者の比率が多かったのは、明らかです。政府の対応も疑問点が多かったし、保健所の対応も追いつけなかったのだと思います。現在では、PCR検査数が増し、軽症者や無症状者の検査をしているので、当然、若者が対象となり、かなりの数が出ているのでしょう。指摘がありますが、これからは新規感染者数よりも陽性率の増加を年齢別に発表するなど、メディアももう少し、わかりやすい方法を用いることが必要だと思います。

当研究所も前年比50%減となり、厳しい状況ですが、こんな時は攻められないと、アメリカからの読影をしたり、インターネットを利用した読影ポータルの開発など、本来の研究に力を入れたいと考え、動き出しています。

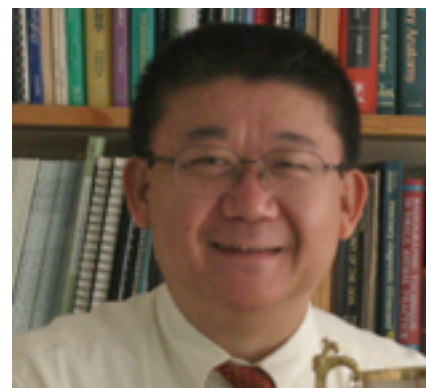
私の考えはFUJIFILMのDR装置からボタン一つで、送信され、その画像についての診断書を翌日までに返送する方法です。専門医の診断書を用いた説明は飼主様にとっても、安心材料であると確信しています。画像診断検査料を増加できる病院様には非常に良い事業拡大方法の一つであると思います。

さらに、インターネットを用いた、リアルタイム腹部超音波検査補助を行うシステムを構築しています。現在は、HITACHI アリエッタ70、プロローグ、ノブルスで作動確認は終わっています。病院にZoom.usを入れた、USB 3.0が使えるコンピュータがあれば、当研究所からお送りする装置を設置していただければ、予約していただいで、検査補助ができます。まずは、腹部超音波実習6回シリーズを終えられた先生に対して行うことにしています。詳細は以下のリンクを見てください。

<http://www.iveat.jp/index.html>

メール連絡先：[iveat@icloud.com](mailto:iveat@icloud.com)

電話連絡先： 090-5932-1560



## 今後のセミナー

コロナ感染症が続いているので、県またぎの制限はありませんが、他県からのセミナー参加の応募はしておりません。

今回のニュースレターに書きましたように、現在は、インターネットを使った方法での勉強会や遠隔実習を計画し、その方法を研究しています。

テレワークが拡大されている中、色々な方法が試されています。また、獣医領域でもウェビナーが開催され、大きな学会もインターネット配信されるようになっていきますので、当研究所でも同様に行なっていきたいと思います。